

トリニティ・トライアル 制作概説

明治大学 理工学部 情報科学科 3年 林 友貴

目次

1. はじめに
2. ゲーム内容
3. 全体設計
4. 詳細設計
5. その他工夫点
6. 所感

はじめに 制作の目的

- ▶ ソフトウェア工学研究室 所属
ソフトウェア開発における**効率の良い開発手法**の研究や
それらを支援するシステムの設計開発を行う。
- ▶ 三年後期のゼミで**デザインパターン**などの**オブジェクト指向**、
リファクタリングの方法について学習したので、

ゲーム制作で実践

はじめに 意識したこと

- ▶ 他人(2ヶ月後の自分)が見たとき**理解できるコード**で書く
 - ▶ 関数や変数の命名は自明なものに
- ▶ まずは**愚直**に実装
 - ▶ **必要に応じてリファクタリング**
- ▶ **オブジェクト指向**的に作る
 - ▶ 状況に応じて**デザインパターン**を適用
 - ▶ クラス間は**疎結合**に
 - ▶ 同じようなコードを繰り返し書かない

ゲーム内容

タイトル『トリニティ・トライアル』

▶ ジャンル

- ▶ 横スクロールアクションゲーム

▶ 特徴

- ▶ 自機を三体まで増やせる
- ▶ 自機の操作は自由に切り替えられる
- ▶ 全滅しなければOK

ゲーム内容

タイトル『トリニティ・トライアル』

▶ アクション

- ▶ 移動・ジャンプ
- ▶ 自機を増やす
- ▶ 操作する自機の切り替え
- ▶ 仲間の集合・解散
- ▶ 仲間をぶん投げる

俺を踏み台にしたり
俺の屍を超えていったりするゲーム

ゲーム内容

タイトル『トリニティ・トライアル』

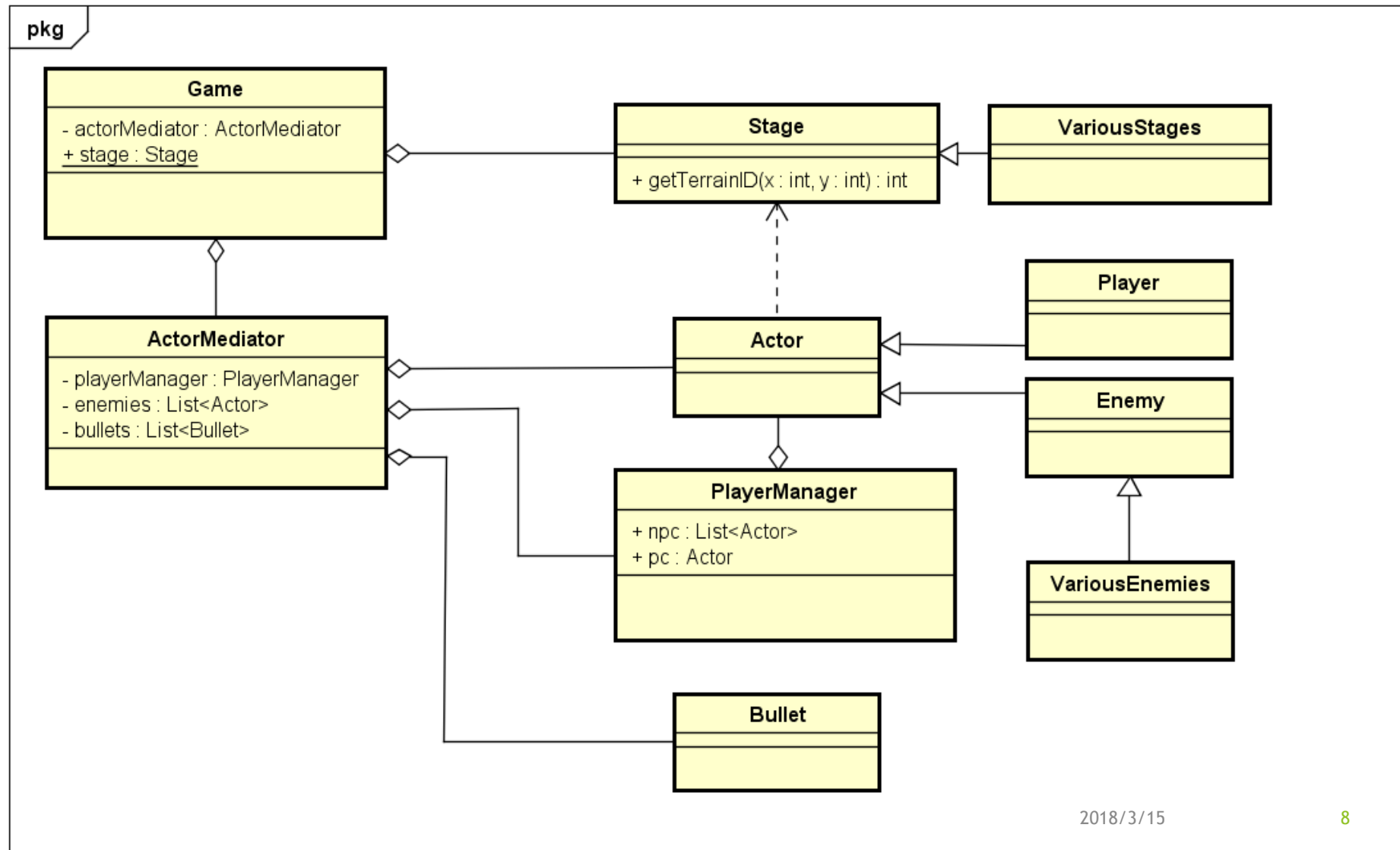
▶ 開発言語・環境

- ▶ Haxe, OpenFL

▶ 動作環境

- ▶ Google Chrome, FireFoxなどのhtml5に対応したブラウザ

全体設計 クラス図



全体設計

ActorMediator クラス

▶ ActorMediator クラス

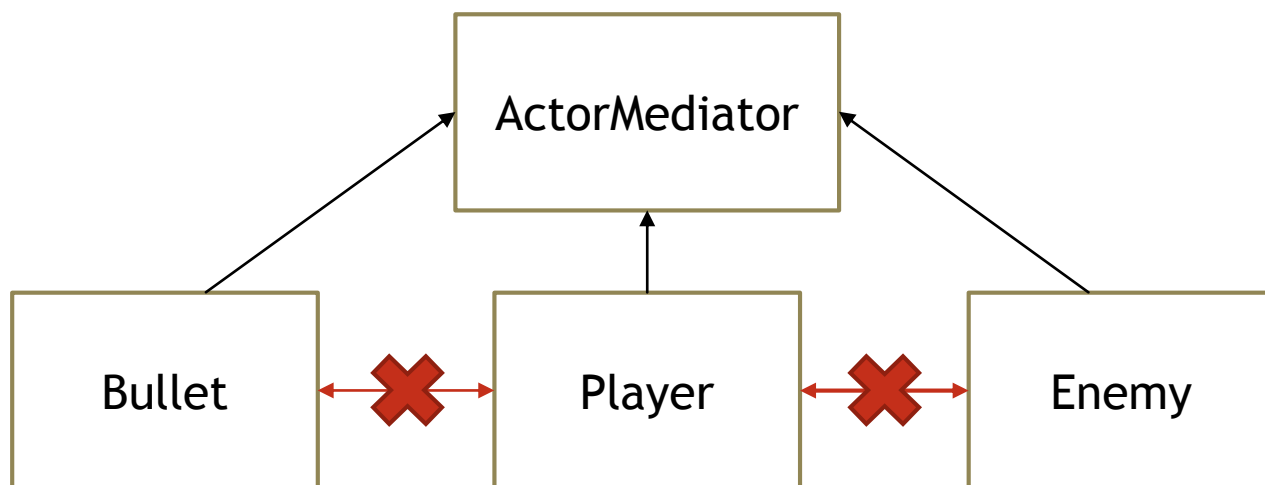
- ▶ 自機(Player)と敵(Enemy)や敵弾(Bullet)の当たり判定などを管理する。
- ▶ メンバ
 - ▶ `List<Actor> enemies` (敵をまとめたリスト)
 - ▶ `List<Bullet> bullets` (敵弾をまとめたリスト)
 - ▶ `PlayerManager` (自機の管理とその操作を行う)
 - ▶ `Actor pc` (操作する自機)
 - ▶ `List<Actor> npc` (それ以外の自機)

全体設計

ActorMediator クラス

▶ Mediatorパターン

- ▶ Player, Enemy, Bulletの管理を一手に引き受けることで上記の**クラス間の結合度を下げている**。
- ▶ コードの修正が最小限に



全体設計

Actor クラス

▶ Actor クラス

- ▶ 自機(Player)や敵(Enemy)などのキャラクターの基底クラス。
- ▶ 地形判定や重力による移動など
キャラクターの基本的な挙動はここで定義されている。

▶ Enemy クラス

- ▶ 敵(Enemy) のスーパークラス。
- ▶ このクラスから派生して個々の挙動をする敵を実装していく。

全体設計

Bullet クラス

▶ Bullet クラス

- ▶ 敵弾を表す。
- ▶ インスタンス生成時に速度や威力など各種パラメータを設定することでその通りに動く。
- ▶ 敵弾の生成はBulletGeneratorクラスが管理する。後述。

全体設計

Stage クラス

▶ Stage クラス

- ▶ 地形や敵と自機の初期位置の情報を持っている
- ▶ 地形の情報に関してはグローバルアクセスが可能

詳細設計

Factory パターン

▶ Factoryパターン

- ▶ インスタンスの生成を別のクラスに管理させるパターン。
- ▶ StageやEnemyなど
サブクラスが多数存在するクラスに対して適用することで
インスタンスの生成管理の手間を軽減している。
- ▶ 例) EnemyFactory
StageFactory
AnimationFactory

詳細設計

BulletGenerator クラス

▶ BulletGenerator クラス

- ▶ Bulletのインスタンスの生成を管理するクラス。
- ▶ 自機狙い弾、Nway弾など弾の出し方をここで定義する。
- ▶ 他のクラスとBulletのリストの参照を共有してそこにBulletのインスタンスを生成して追加する。
- ▶ Factoryパターンに近い？

詳細設計

Spritesheet クラス

▶ Spritesheet クラス

- ▶ Actorのグラフィック管理するクラスの基底クラス。
- ▶ 元々はグラフィックの処理もActorの各サブクラスで行っていたが肥大化したため分離して作成。
- ▶ 対象のActorの参照をメンバに持ち、そのActorの状態に応じたグラフィックを表示する。
- ▶ **Observer** パターン？
対象(Actor)の状態がほぼ毎フレーム変わるので「変化したら知らせる」が肝の**Observer** パターンと言えるか微妙

詳細設計

Module クラス

▶ Module クラス

- ▶ キー入力など、ゲーム全体で必要になる機能を関数としてまとめたクラス。

▶ Facade パターン

- ▶ 複雑な操作を隠蔽し、必要な機能のみを提供するパターン。
- ▶ キー入力の処理のアレコレは Module 内の private 関数で完結させ、Module クラスからは「キーが押されたかの判定」などの必要な機能のみを関数として外部に提供している。
- ▶ 先述した ActorMediator も見方によっては Facade パターン

詳細設計

Sequencer クラス

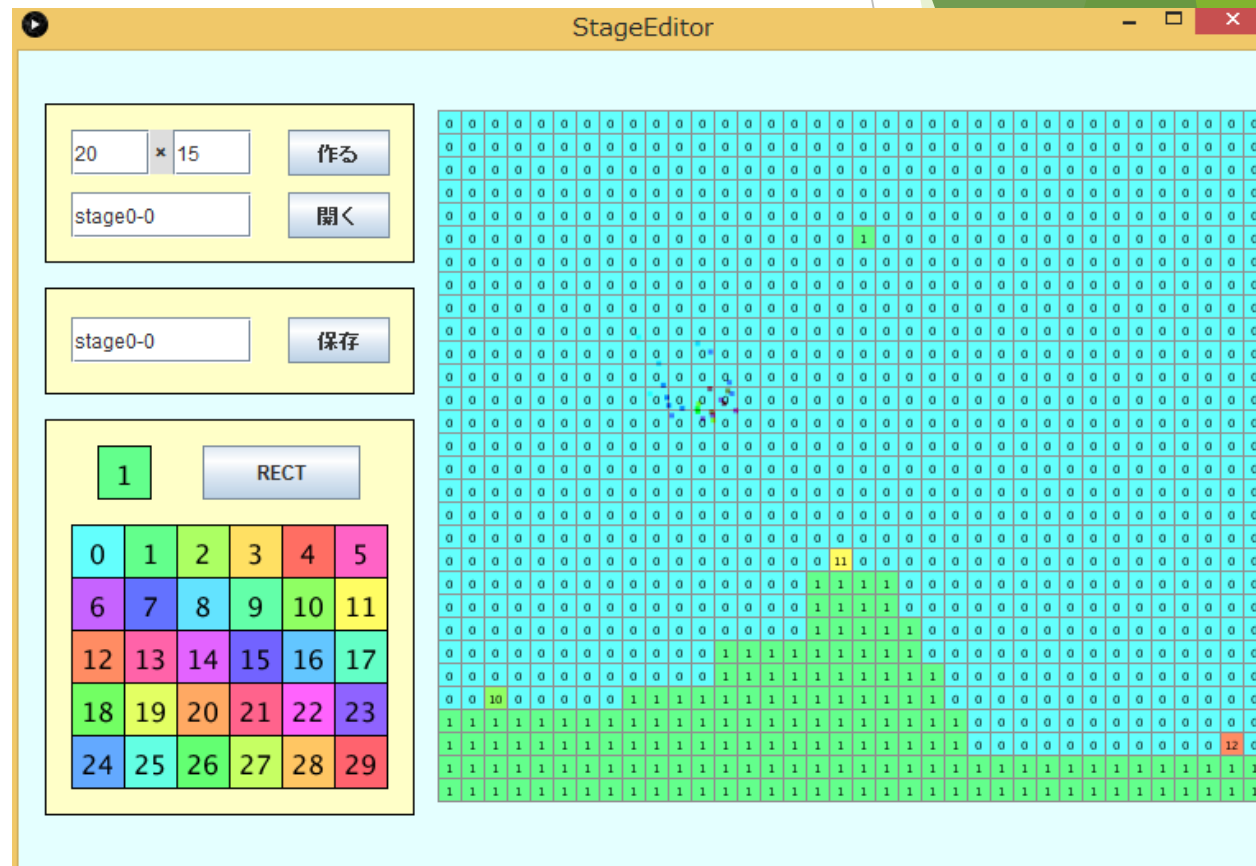
▶ Sequencer クラス

- ▶ キューに関数(で包んだ文)を追加すると順々に実行してくれる。
- ▶ UnityやLuaのコルーチンに近い機能を実現する。
- ▶ 敵などの挙動を非常に簡単に設定できるようになった。
 - ▶ 例) `go_straight();`
`wait(10);`
`attack(1);`

その他工夫点

ステージエディタ

- ▶ ステージエディタを自作
 - ▶ ステージをグラフィカルに作成できるツール
 - ▶ 二元配列に格納しやすいようにcsv形式で入出力



所感

- ▶ まだ未完成
- ▶ 制作期間一カ月ほどだがゲームの土台は完成しつつある
- ▶ ソフトウェア工学の『開発を効率よく行う』という目的は達成されているのではないか